

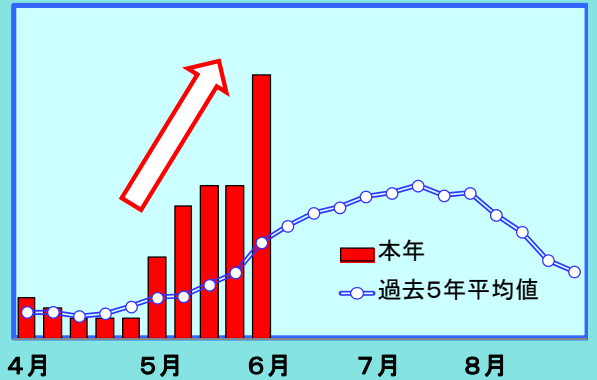
京都市こどもの感染症

咽頭結膜熱(プール熱)

に注意しましょう!!

咽頭結膜熱は、例年6月頃から徐々に増加しはじめ、7~8月に流行のピークを迎える夏かぜの1つで、プールを介して広がることが多いことから、プール熱とも呼ばれています。赤ちゃんには少なく、幼児から小学生が多くかかります。

京都市での発生の様子



●症状は?●

- ★ 4、5日続く**高熱**(38~39度)
- ★ **のどの痛み**(咽頭炎の症状)
- ★ **目の充血・痛み**(結膜炎の症状)



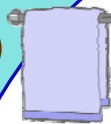
症状は、感染してから
5~7日後にあらわれます。

●予防方法は?●

★ タオルは自分専用のものを使用し、他の人との**貸し借りはやめましょう!**

★ プールの後は**しっかりシャワーで体を洗い、うがいと手洗いも忘れずにしましょう!**

★ 目やにをふいたり、オムツ替えをしたあとは、石けんで**しっかり手を洗いましょう!**



★ 高熱・のどの痛み・目の充血等の症状がある時は、**必ず医療機関を受診しましょう!**

★ 咽頭結膜熱にかかってしまったら、学校保健安全法に基づき、**学校(幼稚園等)を休むことが必要な場合がありますので、医師とご相談ください。**

◆ 「京都市こどもの感染症」に関するお問い合わせ

- お近くの保健センター
- 京都市保健福祉局 保健医療課 (TEL:075-222-4421 FAX:075-222-3416)
- 京都市衛生環境研究所 管理課 (TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232)



京都市印刷物 第 252075 号
平成25年7月 発行
京都市衛生環境研究所